

(誰でも簡単) 被災者生活再建カード配置パターン集



罹災証明の判定ごとの使える
支援制度のパターン集です
被災者の方とお話しながら
このとおり被災者生活再建カード
を貼って、持ち帰ってもらう!

2022.11.6 問合せ 弁護士永野 海

より詳しい情報がある
被災者支援カードも
一緒にみながらだと
分かりやすいわ♪



半壊 世帯で
解体する (修理する)



被災者生活再建カード
の基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる箇所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります
※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

カードで 得られる金額	万円	万円	65.5万円	万円	万円	① 万円
最初の生活場所	ボランティア 専門家支援	火災(地震) 保険・共済	応急修理 制度	被災者生活再建支援金 基礎支援金	自治体の 独自支援	ライフスタイル カード1枚目
カードで 得られる金額	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
次の生活場所	養老金	災害 弔慰金	災害援護 資金貸付	雑損控除 (災害減免法)	自由なアイデア カード	ライフスタイル カード2枚目
カードで 得られる金額	万円	万円	~1200万円	~1200万円	万円	③ 万円
最終的な住まい	公費解体	被災者生活再建支援金 加算支援金	災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)	リバース モーゲージ	被災ローン 減免制度	現在の貯蓄額 万円
			④ どちらか			①~④の合計額を記入 最終合計 万円

原則どちらか

令和4年8月12日版 被災者生活再建支援法
被災者支援カード 2022 弁護士永野 海

災害直後	応急修理制度 (災害救助法)	窓口 自治体 誰に	基礎支援金 (被災者生活再建支援法)	窓口 自治体 誰に	災害援護 資金貸付 (災害弔慰金法)	窓口 自治体 誰に
数か月後	仮設住宅 (災害救助法)	窓口 自治体 誰に	公費解体 (環境省の制度)	窓口 自治体 誰に	雑損控除 (災害減免法)	窓口 自治体 誰に
その後	加算支援金 (被災者生活再建支援法)	窓口 自治体 誰に	被災ローン 減免制度	窓口 自治体 誰に	災害復興 住宅融資 (リバースモーゲージ)	窓口 自治体 誰に

世帯で

解体する/修理する/借入人

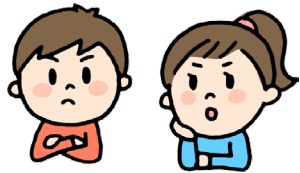


被災者生活再建カードの基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア *家の片付け・泥出し・ペット・移動支援など様々なお困りごとに</p> <p>専門家支援 *今後の生活再建を気軽になんでも相談</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震） 保険・共済</p> <p>*今回の災害で使える保険に入っている人 *水害の場合、火災保険の水災特約の加入の有無に注意</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入れず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>*土砂の撤去や、見舞金・支援金・補助制度など自治体のホームページの情報に注意</p>	<p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>*死傷や住宅の損壊の程度（罹災証明書の判定）などによって配分される *通常、世帯分離なら世帯ごとに申請可能</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>*災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給 *避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討</p>	<p>万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 *所得による利用制限あり</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 （災害減免法）</p> <p>*所得税・住民税の納税者が対象 *保険でカバーできない住居・家財・車両・墓などの損失がある場合</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯</p>	<p>万円</p> <p>災害復興 住宅融資</p> <p>*親子リレーローンで二世帯での可能も可 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可</p>	<p>万円</p> <p>リバース モーゲージ （災害復興住宅融資 の高齢者返済特例）</p> <p>*60歳以上 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可 *不動産評価の6割まで借入可</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *災害によって（被災時の）個人のローンの返済が困難になった場合 *利用が可能かは弁護士にご相談を</p>	<p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①～④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

一部損壊世帯で
解体する **修理する**



被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる**ところすべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります**
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の**最終合計額**が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>*災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給 *避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討</p>	<p>万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 *所得による利用制限あり</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯</p>	<p>~1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

一部損壊世帯の 賃借人の方

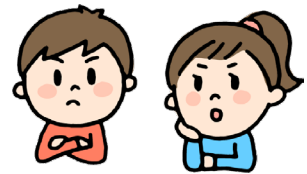


被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>避難所 開設されていれば誰でも入れる</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去など様々な困りごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震） 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の被害保障なし</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合はカードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>*災害時や災害後にご家族が亡くなった（重大な後遺障害を負った）場合に申請・支給 *避難生活中の死亡なら災害関連死の相談を検討</p>	<p>万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 *所得による利用制限あり</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 （災害減税法）</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」の受給世帯又は中規模半壊の世帯</p>	<p>万円</p> <p>災害復興 住宅融資</p> <p>*親子リレーローンで二世帯での可能も可 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可</p>	<p>万円</p> <p>リバース モーゲージ （災害復興住宅融資の高齢者返済特例）</p> <p>*60歳以上 *建設・購入（新築・中古）は半壊以上、補修は一部損壊も可 *不動産評価の6割まで借入可</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>④</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①～④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

準半壊 世帯で
解体する **修理する**

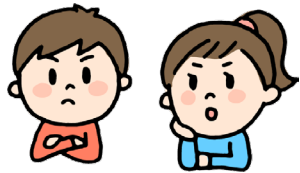


**被災者生活再建カード
の基本的な使い方**

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>31.8万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合は カードを貼る</p> <p>応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。 半壊以上も可能性</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p>	<p>150万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>ただし 床上浸水で 家財の3分 の1の損害 ある場合</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯</p>	<p>~1200万円</p> <p>災 害 復 興 住 宅 融 資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p> <p>どちらか</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>④</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

準半壊世帯の 借借人の方

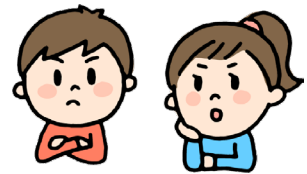


被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する場合は 避難所 開設も入 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する。以下の場合は カードを貼る 応急仮設住宅 災害救助法の適用が必要。 半壊以上も可能性</p>	万円	250/500万円	150万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	万円	万円	万円	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円
						①～④の合計額を記入 最終合計 万円

半壊世帯で
解体する **修理する**



**被災者生活再建カード
の基本的な使い方**

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所は 開設から数ヶ月 の利用（無料）で も入居可能</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは 地震・津波・被害 補償不足</p>	<p>65.5万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援法 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の 適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅は 災害発生後 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に500万円又 は250万円 支給</p>	<p>170~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援法 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：「基礎支援金」 の受給世帯又は中規模 半壊の世帯</p>	<p>~1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計</p> <p>万円</p>

原則どちらか

どちらか

半壊世帯の 借入の方

(建物が解体されない時)



被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>避難所</p> <p>数日から数ヶ月の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>仮設住宅</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>災害公営住宅</p> <p>自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	万円	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円
						①~④の合計額を記入 最終合計 万円

半壊/中規模半壊/大規模半壊 世帯の
借入の方
 (建物が解体された時)



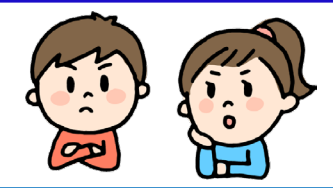
被災者生活再建カード
 の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります
 ※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所</p> <p>開設も入居も 数日から数ヶ月の利用(無料)</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅</p> <p>災害半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性あり</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
<p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象:準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>ライフスタイル カード1枚目</p>	
<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>災 害 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p>	<p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>自由なアイデア カード</p>	<p>ライフスタイル カード2枚目</p>	
<p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>	

← どちらか →

半壊/中規模半壊/大規模半壊
世帯で
解体する・修理する



被災者生活再建カードの基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 災害半壊以上</p>	万円	250/500万円	250~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するカードは 災害公営住宅 自治体や入</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア
専門家支援**

片付け・土砂撤去
など様々な困り
ごとの相談

**火災(地震)
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の
被害保障なし

応急修理制度

*災害救助法の適用が
必要
*対象：準半壊以上
*使うと修理後は「応急
仮設住宅」に入らず、
「公費解体」も使えな
くなる

**被災者生活再建支援金
基礎支援金**

全壊・解体・長期避難
100万円
大規模半壊
50万円

**自治体の
独自支援**

自治体により支援
の有無・内容が異
なるので情報収集

**ライフスタイル
カード1枚目**

義援金

家族の死亡や住家
被害の程度により
支給される

災害弔慰金

家族の死亡時に遺
族に500万円又
は250万円支給

**災害援護
資金貸付**

1か月以上の負傷
家財損害、住家被
害に応じ最大
350万円貸付

**雑損控除
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓
地などの被害や災
害による支出で税
金が減免される

**自由なアイデア
カード**

**ライフスタイル
カード2枚目**

公費解体

原則全壊建物が対象。
特定非常災害等なら
半壊以上の家屋や
一部事業所も無料で
解体・撤去

**被災者生活再建支援金
加算支援金**

建設・購入 200万
修理 100万
民間貸借 50万
*中規模半壊以上
の各半額

**災害復興
住宅融資
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は
半壊、補修は一部
損壊以上が条件

**リバース
モーゲージ**

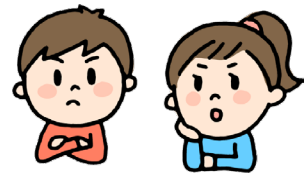
60歳以上なら、不
動産を担保に、利
息のみの返済可能

**被災ローン
減免制度**

住宅、事業、教育
などの個人ローン
の減額・免除

← どちらか →

中規模半壊世帯で
解体する・修理する



被災者生活再建カード
の基本的な使い方

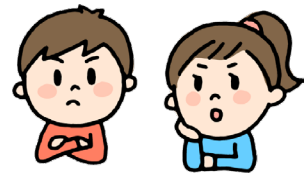
- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する欄は カード 開設 も入</p> <p>避難所 数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけで は地震・津波 被害保証なし</p>	<p>65.5万円</p> <p>応急修理 制度</p> <p>仮設住宅</p> <p>半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法 の適用が必要（同等の 制度がある自治体も） *対象：全壊世帯・大規 模半壊世帯・半壊以上 等でやむを得ず解体す る世帯・長期避難世帯</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>地方自治体</p> <p>自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する カード は</p> <p>仮設住宅</p> <p>災害 半壊</p> <p>原則 2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 要。</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される</p>	<p>250/500万円</p> <p>災 害 金 弔 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺 族に 500万円 又 は 250万円 支給</p>	<p>250~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円 貸付</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>税務署</p> <p>建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい 自宅を修理</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック</p>	<p>50万円 単身は3/4</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額</p>	<p>~1200万円</p> <p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件</p>	<p>~1200万円</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>免状</p> <p>住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>④</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

原則どちらか

どちらか

中規模半壊 世帯の
借入の方
 (建物が解体されない時)



被災者生活再建カード
 の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード(借入以外)を貼ります
 ※ カードの配置例も参考に(配置例はカードを最も使える事例を想定しています)
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設から数ヶ月の 利用(無料)</p>	万円	万円	万円	万円	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	25~100万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円 ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

**ボランティア
専門家支援**

片付け・土砂撤去
など様々な困り
ごとの相談

**火災(地震)
保険・共済**

火災保険だけでは地震・津波の
被害保障なし

応急修理制度

- * 災害救助法の適用が必要
- * 対象：準半壊以上
- * 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる

被災者生活再建支援金
基礎支援金

- * 被災者生活再建支援法の適用が必要(同等の制度がある自治体も)
- * 対象：全壊世帯・大規模半壊世帯・半壊以上等でやむを得ず解体する世帯・長期避難世帯

**自治体の
独自支援**

自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集

**ライフスタイル
カード1枚目**

義援金

家族の死亡や住家被害の程度により支給される

災 害 弔 慰 金

家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給

**災害援護
資金貸付**

1か月以上の負傷
家財損害、住家被害
に応じ最大
350万円 貸付

**雑損控除
(災害減免法)**

建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される

自由なアイデア
カード

**ライフスタイル
カード2枚目**

公費解体

- * 原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック

**被災者生活再建支援金
加算支援金**

建設・購入 200万
修理 100万
民間貸借 50万
* 中規模半壊は上の各半額

**災害復興
住宅融資
(建設・購入・補修)**

建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件

**リバース
モーゲージ**

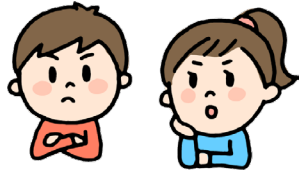
60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能

**被災ローン
減免制度**

住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除

← どちらか →

大規模半壊世帯で
解体する・修理する



被災者生活再建カードの基本的な使い方

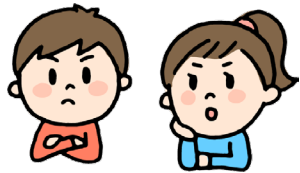
- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

カードで 得られる金額	万円	万円	65.5万円	50万円 単身は3/4	万円	① 万円
最初の生活場所 記入カードは 避難所 開設も入 数日から数ヶ月の利用（無料）	ボランティア 専門家支援 片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談	火災(地震) 保険・共済 火災保険だけでは地震・津波 被害保障なし	応急修理 制度 仮設住宅 半壊以上 655,000円 準半壊 318,000円	被災者生活再建支援金 基礎支援金 全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円	自治体の 独自支援 自治体により支援 の有無・内容が異 なるので情報収集	ライフスタイル カード1枚目
カードで 得られる金額	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
次の生活場所 記入カードは 仮設住宅 災害 半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 要。	義 援 金 家族の死亡や住家 被害の程度により 支給される	災 弔 慰 金 家族の死亡時に遺 族に500万円又 は250万円支給	災 害 援 護 資 金 貸 付 1か月以上の負傷 家財損害、住家被 害に応じ最大 350万円貸付	雑損控除 (災害減免法) 建物・家財・車・墓 地などの被害や災 害による支出で税 金が減免される	自由なアイデア カード	ライフスタイル カード2枚目
カードで 得られる金額	万円	100万円 単身は3/4	~1200万円	~1200万円	万円	③ 万円
最終的な住まい 自宅を修理	公費解体 *原則全壊家屋が対象。 特定非常災害等なら半 壊以上の家屋や一部事 業所も対象になること もあるため最新の情報 をチェック	被災者生活再建支援金 加算支援金 建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上 の各半額	災 害 復 興 住 宅 融 資 (建設・購入・補修) 建設・購入資金は 半壊、補修は一部 損壊以上が条件	リ バ ー ス モ ー ゲ ー ジ 60歳以上なら、不 動産を担保に、利 息のみの返済可能	被災ローン 減免制度 免状 住宅、事業、教育 などの個人ローン の減額・免除	現在の貯蓄額 万円 ④ ①~④の合計額を記入 最終合計 万円

原則どちらか

どちらか

大規模半壊世帯の 借入の方

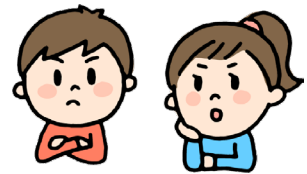


被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入カードは 避難所 開設も入 数日から数ヶ月の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	50万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>火災(地震) 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊以上 *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>ライフスタイル カード1枚目</p>	
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入カードは 仮設住宅 災害半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	万円	250/500万円	170~万円	万円	万円	② 万円
<p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>災 害 慰 金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p>	<p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>雑損控除 (災害減免法)</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>自由なアイデア カード</p>	<p>ライフスタイル カード2枚目</p>	
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード又は以下のカードを貼る 災害公営住宅 自治体が設置するかどうかや入居要件に注意</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
<p>公費解体</p> <p>*原則全壊家屋が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も対象になることもあるため最新の情報をチェック</p>	<p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 *中規模半壊は上の各半額</p>	<p>災害復興 住宅融資 (建設・購入・補修)</p> <p>建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>	

全壊 世帯で
解体する 修理する



被災者生活再建カードの基本的な使い方

- 1) まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 2) 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 3) 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 4) 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 5) 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 6) 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入するカードは 避難所 開設も入 数日から数ヶ月の利用（無料）</p>	<p>万円</p> <p>ボランティア 専門家支援</p> <p>片付け・土砂撤去 など様々な困り ごとの相談</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震） 保険・共済</p> <p>火災保険だけでは地震・津波の 被害保障なし</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>* 災害救助法の適用が必要 * 対象：準半壊以上 * 使うと修理後は「応急仮設住宅」に入らず、「公費解体」も使えなくなる</p>	<p>100万円 単身は3/4</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>全壊・解体・長期避難 100万円 大規模半壊 50万円</p>	<p>万円</p> <p>自治体の 独自支援</p> <p>自治体により支援の有無・内容が異なるので情報収集</p>	<p>①</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード1枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入するカードは 仮設住宅 災害半壊 原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性 必要。</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>家族の死亡や住家被害の程度により支給される</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>家族の死亡時に遺族に500万円又は250万円支給</p>	<p>250~万円</p> <p>災害援護 資金貸付</p> <p>1か月以上の負傷家財損害、住家被害に応じ最大350万円貸付</p>	<p>万円</p> <p>雑損控除 （災害減免法）</p> <p>建物・家財・車・墓地などの被害や災害による支出で税金が減免される</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデア カード</p>	<p>②</p> <p>万円</p> <p>ライフスタイル カード2枚目</p>
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するカードは 災害公営住宅 収入に応じて家賃は変動、当初数年は家賃の特典あり</p>	<p>万円</p> <p>公費解体</p> <p>原則全壊建物が対象。特定非常災害等なら半壊以上の家屋や一部事業所も無料で解体・撤去</p>	<p>50~200万円 単身は3/4</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>建設・購入 200万 修理 100万 民間貸借 50万 * 中規模半壊以上の各半額</p>	<p>~3700万円</p> <p>災害復興住宅融資 （建設・購入・補修）</p> <p>建設・購入資金は半壊、補修は一部損壊以上が条件</p>	<p>評価額の6割</p> <p>リバース モーゲージ</p> <p>60歳以上なら、不動産を担保に、利息のみの返済可能</p>	<p>万円</p> <p>被災ローン 減免制度</p> <p>住宅、事業、教育などの個人ローンの減額・免除</p>	<p>③</p> <p>万円</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>④</p> <p>現在の貯蓄額 万円</p> <p>①~④の合計額を記入 最終合計 万円</p>

全壊世帯の 借入の方



被災者生活再建カード の基本的な使い方

- まず、「最初の生活場所」の欄に書き込み等を行います
- 次に、最終的な住まいの希望が決まっている場合には「最終的な住まい」欄に書き込み等を行います
- 説明文に当てはまる場所すべてに各支援制度のカード（借入以外）を貼ります
※ カードの配置例も参考に（配置例はカードを最も使える事例を想定しています）
- 金額がわかる時は金額欄に記載します
- 借入の支援制度カードを使うかを検討します
- 右下の最終合計額が住宅再建に使える金額の目安になります

<p>カードで 得られる金額</p> <p>最初の生活場所</p> <p>記入する場合は カード</p> <p>避難所 開設 も入</p> <p>数日から数ヶ月 の利用（無料）</p>	万円	万円	万円	100万円 単身は3/4	万円	① 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>次の生活場所</p> <p>記入する場合は カード</p> <p>仮設住宅 災害 半壊</p> <p>原則2年以内 家賃無料 半壊も入居可能性</p>	万円	万円	250~万円	万円	万円	② 万円
<p>カードで 得られる金額</p> <p>最終的な住まい</p> <p>記入するか、住まいカード 又は以下のカードを貼る</p> <p>災害公営住宅 自治体が設置するかどうか や入居要件に注意</p>	万円	50~200万円 単身は3/4	~3700万円	評価額の6割	万円	③ 万円
						④ 現在の貯蓄額 万円
						①~④の合計額を記入 最終合計 万円